

クリスマス　ドア・オーナメント

クリスマスの時期になるとリースなどの飾りを玄関のドアに掛けているのを見かけます。

キレイだから、季節を感じるからというだけでなく、「**魔除け**」出入口に飾ることで家の中を守るという意味があります。

リースに使われるヒイラギなどの常緑樹は、古くから生命力の象徴とされてきました。

主催：NPO法人　Pride of KOBE
https://www.facebook.com/2023poko



クリスマスツリーの起源は？

実は、キリスト教に関係ないところが始まりとなっています。

それは、北欧に住んでいた古代ゲルマン民族の

「ユール」という冬至の祭で使われていた樫の木です。

冬でも葉を枯らさずにいる樫は生命の象徴とされていました。

このゲルマン人たちをキリスト教に改宗させる

試みがなされたのですが樹木信仰が根強かったので

樫を樅（モミ）に変えることで

教化するのに利用しました。

ら見ると、

子と聖霊が底辺の両端に位置する

キリスト

樅の木は横か

父なる神が頂点で

三角形で「三位一

体」を表していると教えました。

オーナメントで飾るようになったのは？

ドイツに伝わる伝承の一つに「もみの木に宿る小人が、
幸せを運んでくれる」というものがあります。
その為、小人に長くもみの木に居てもらおうと、
もみの木を飾りつける風習がありました。
ドイツの神学者マルティン・ルターが、
ある年のクリスマスイブの礼拝の帰りに、
常緑樹の木々の合間に無数の星が輝くのを見つけました。
この美しさに感動したルターが、家で再現してみよう！と
もみの木を持ち 込みロウソクなどを飾ったのが
ツリーの飾り付けに関係しているという逸話があります。
これがドイツ全体に広まり、オーナメントなどを
飾り付けるようになったものだとも言われています
クリスマスツリーの発祥は、ドイツだったのですね



オーナメントにも意味があるよ！



トップスター
クリスマスツリーの一番上に、必ずといっていいほど飾られている星型の飾り「トップスター」。
イエスキリストの誕生を「東方の三博士」に知らせた「希望の星」が由来になっています。
人々を導くような大きく目立つ星は縁起が良いとされ、クリスマスツリーの頂上を飾っています。

クリスマスベル
クリスマスベルは、イエスキリストの誕生日を人々に知らせる「喜びの音を鳴らすベル」
ベルの飾りには天使とセットの物が多く、これは天使がベルを持ちキリストの誕生日を人々に知らせる役目がある事が由来です。
また、ベル自体にも魔除けの効果があるといわれています。

靴下
クリスマスで飾られる靴下は、聖ニコラウスという人物が貧しい家の子供たちを助けるために窓から金貨を投げ入れたら、暖炉のそばにあった靴下の中に偶然入ったという、サンタクロースのモデルになったお話が由来です。

オーナメントボール
現在は金属性メッキ状のボールのものが定番ですが、昔はリンゴを飾っていました。
リンゴは、アダムとイブが食べた「知恵の木の実」を象徴して「幸福」や「豊かな実り」の願いが込められてツリーに飾られるようになりました。

ヒイラギの実
神の「**愛と寛大さ**」という意味が込められています。
また、赤色の実は人々に恵みをもたらす「**太陽**」を表すともいわれます。
リボン
固く結ばれたリボンは、悪いものを払ってくれる**魔除け**と考えられていたのだそうです。

キャンディ
クリスマスツリーに飾り付けられるキャンディが杖の形をしているものが多いのは、「羊飼いが羊を導く杖」を意味しています。そこからキリストが人々を導いてくれるという祈りが込められています。

ワークショップの補足２

松ぼっくりの種類







ドア・オーナメントができるまで



1. 部品の用意
2. もみの枝をデコレート
3. 松ぼっくりをデコレート
4. パーツを固定する



1. 部品の用意

・麻のリボン
・プリントのリボンとリボンのあし
・もみの枝
・松ぼっくり　大3ケ、小1ケ
・編んだ麻ひも 4本



2.もみの枝をデコレート

リボンの前につけるもみの枝を飾ります。
飾りは、用意したアクセサリーからお選びください。
接着は、グルーガンを使います。





3. 松ぼっくりをデコレート

松ぼっくりを飾ります。
飾りは、用意したアクセサリーからお選びください。
接着は、グルーガンを使います。



4.松ぼっくりに麻ひもをつける

松ぼっくりの根元についているヒンジに麻ひもを通して固定しします。
ひもは三つ編みに編んで入るため、ヒンジの穴より太いので工夫が必要です。

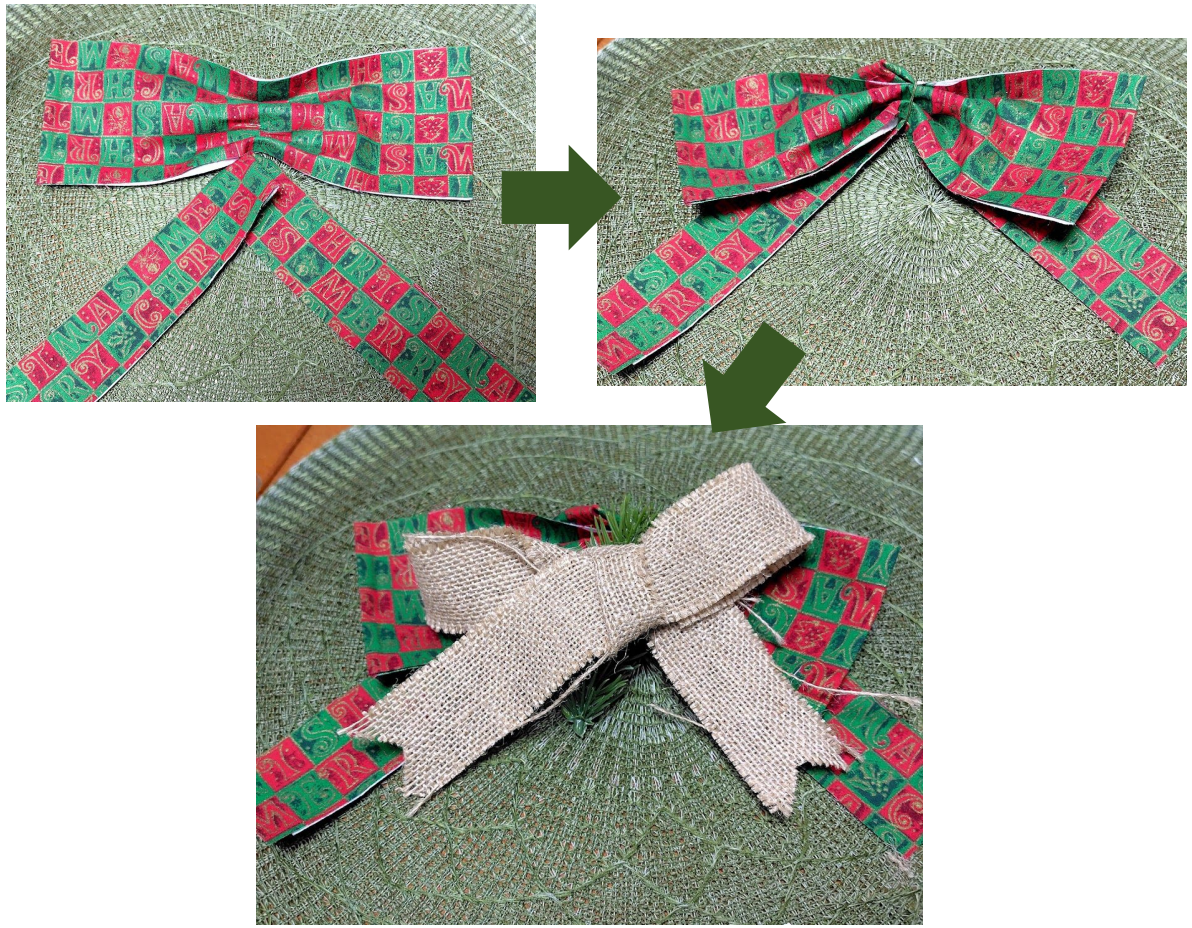






5.リボンの形を整える

プリントリボンは、帯とあしの部分に分かれて
いるので、形を整えてください。
その上に麻のリボンをつけて形を整えます。



6.松ぼっくりとリボンを固定

ひもを通した松ぼっくりとリボンを固定します。
まずひもの長さを考えて、松ぼっくりを固定して、そのあとにリボンに固定します。最後にリボンにもみの枝をつけます。

